

【設問9】 県立美術館のコンセプトについてご意見があればお聞かせください。

ご意見の概要	回答件数	割合
<ul style="list-style-type: none"> ・世界的な名画展を開催し、県民も気楽に利用できる場所。 ・気取らず敷居の低い美術館。 ・ループル美術館のように母親が子どもを連れてエプロンがけでのぞくことができるような自由なムード漂う空間に近づけて欲しい。 ・美術館で待ち合わせと言えるような生活の延長線上にあり利用しやすい美術館。自分たちの応接間というはすてき。 ・あまり肩肘を張らず県民のための施設であって欲しい ・アットホームな美術館 ・県民が広く利用できる美術館であってほしい。 ・買い物ついでに美術館を見るといった気軽さがあると、広く多くの人たちに活用してもらえと思う。 ・美術に興味のある人もない人もちょっと行ってみたくなる美術館。 ・人が集える ・利用し易い美術館 ・美術館には敷居が高いイメージがあります。敷地内の展示会場以外の場所も会場と同じように重要だという意識が大切だと思います。ミュージアムショップだけに来る、カフェやレストラン目的、図書館が充実しているから・・・などの来場者がやがて作品に興味を持ってもらえれば良いのではないかと思います。 ・美術館は純粹に美術を鑑賞する場、県内外の質の高い作品を県民に鑑賞してもらおう。県民が見たいと思うような展覧会を開催するといった考えで良いのではないか。県民や美術愛好かが利用し易い美術館であれば良いと思う。 ・美術品に触れたい人、寛ぎたい人、様々な人に利用してもらえる美術館 ・県民の参画 ・遊びに行く ・今までに行ったことがない人でも気軽に利用できるような美術館。 	20 人	8 %
<ul style="list-style-type: none"> ・美術鑑賞のみが目的でなくても憩いの場所や遊べる場所となるもの。 ・くつろぐことのできる空間と眺めの良い景色。 ・食、温泉、観光、自然と併用した癒しが堪能できる美術館。 ・誰もが気軽に立ち寄れる多目的な癒しの空間 ・心と目の保養になる美術館。 ・誰もが「すごい」と感じる、なごめる美術館 ・大人が癒される場所。 ・今求められているのは和のノスタルジックな癒しの空間だと思う。周辺を含めた和の空間が構成できれば入館者も増えると思う。 ・癒しの要素を入れ、日常とは違った空間にする ・広さ、大きさだけでなく、美術館にでかければ一日中楽しめるそんな「心休まる」美術館が欲しいです。 ・1日中いても飽きないシンプルで安らげる空間づくり 	17 人	7 %

ご意見の概要	回答件数	割合
<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の植物を感じさせる美術館。 ・窓からの景観も素晴らしい美術館。 ・大都市圏のような外観がお洒落なだけの建物でなく、自然とマッチした美術館にして欲しい。 ・自然を活用できる美術館。 ・町か森がたくさん見える空に近い美術館 ・木や土、水や光等大分の自然を象徴させるものを活かしてほしい。 ・「海」「山」「温泉」「国際性」をコンセプトにして特色ある美術館に ・大分は日本で最も自然に恵まれた土地柄なので、温泉、水、森をイメージした施設 ・朝倉文夫、田野村竹田、高山辰雄、福田平八郎、宇治山哲平、糸園和三郎等日本の美術界に活躍した人を多く育てた大分の風土を見据えたコンセプトを考える。豊かな自然が多くの作家を生んだと思うので。 ・大分の自然をテーマに全国に発信する美術館 ・山、海、河、温泉と美しく、恵まれた自然環境を取り込める美術館 	13人	5%
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の見学だけでなく、他の楽しみも体感できる施設。 ・「観る、聴く、体験できる」美術館。 ・ふれることができる美術など必要 ・静かに作品鑑賞するだけでなく、美術の面白さを伝え、体で感じられる帰りたくない美術館 ・体験する美術館がおもしろいのではないか。 ・美術品作りの体験ができる美術館 ・子どもたちが本物の芸術や文化に直接・気軽にふれあえる施設 ・普段の生活とは異なった楽しみ、感動を体験できる場所。 ・来て・見て・体験・大分県！ ・見て、聞いて、触って、自分たちが参加できることが何人も興味を持つものであり、子どもたちの感性を磨いていくものである。 ・親子、友人、職場、学校、保育園、幼稚園等みんなで共感できると幸せ ・感動 	13人	5%
<ul style="list-style-type: none"> ・教育色を前面に出すのではなく楽しい場所 ・子どもたちに夢のある楽しめる美術館 ・嬉努愛楽(きどあいらく)ー嬉しい、努力してつくりあげる、愛にあふれた、楽しい ・どの年代でも楽しめる ・子ども達を含め様々な人々が気軽に文化を楽しめる場所。美術鑑賞も含め音楽鑑賞、またそれらに付随したショッピングができたり、子どもも大人もワークショップが楽しめるなど、美術館周辺が公園なども含め、豊かな文化と接することができ、くつろぎの場となるもの。 ・あらゆる人が楽しめる刺激を受ける場 ・芸術文化に触れながら、県民も観光客もその空間を楽しめる施設 ・アートを勉強する、のではなく、体験し、楽しむ美術館。「わからない」を楽しむことも大事 ・利便性、広がり、明るい、楽しい、夢がある 	12人	5%
<ul style="list-style-type: none"> ・県民に親しまれる愛される美術館。 ・県民が親しみやすい美術館。 ・長く、身近に親しめる美術館であってほしい。 ・親しみやすい、気軽に利用できる ・世代をこえて親しまれる美術館に ・親しみやすく誰でも行きやすい ・老若男女、気軽に足を運べる親しみやすい美術館 	9人	4%

ご意見の概要	回答件数	割合
<ul style="list-style-type: none"> ・美術界の権威を称えるような「美術館」ではなく、新しいものを育てる美術館、挑戦が許される美術館。 ・アートを紹介し、人材を発掘するための人材育成の場となって欲しい。 ・大分のアーティストを大切にしてい「大分」にしたい ・大分の芸術家の継承。若手の発掘・育成 ・「県民を育てる美術館」学校教育や普段の生活とは違ったものを見る眼を養い、経験し、もって人格の豊かな大分県が誇れる人材を育てる美術館になってほしい。 ・次世代の芸術家を輩出して欲しい ・若手芸術家の育成 ・多くの施設、アーティストが集積していく『芸術村』をめざす ・芸術家を育てる美術館 	9人	4%
<ul style="list-style-type: none"> ・世界に通用する美術館。留学生も多く、南蛮文化発祥の地であり国際的な視点を入れていくべき。 ・アジアからの留学生が多いので、アジアとの一体感を醸成する展示をコンセプトに ・「グローバル」な美術館 ・「海外の美術作品にもっとふれあう」美術館 ・世界に開く大分の美術館 ・卒業後のAPU留学生との接点の維持 ・他県や外国からも来てもらえるような美術館 	8人	3%
<ul style="list-style-type: none"> ・4次元の世界をイメージできる美術館。(過去から現在、そして未来へ) ・現代アート、デジタルアート、動画アート、著名マンガ、アニメ。次世代の才人となるアートジャンルも重視。過去・現代・未来を繋げるイメージ。 ・「未来にはばたく」美術館 ・日本にもない、世界に目を向けてもない、未来派の「ミュージアム」。 ・現在・過去・未来が調和する美術館 	6人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・大分県はどの地域にも自慢できる観光資源がある。美術・芸術の視点での大分各地の資源を全国、そしてアジアに発信して欲しい。 ・ONSENツーリズムとマッチさせたもの。 ・バスで団体の旅行者が来るくらい有名な施設 ・観光ルートに乗せうるくらいのも。福岡にある九州国立博物館のような全国的に誇れるもの ・観光振興 ・県民を中心とした、県民に愛される、観光客も訪れたい美術館 	6人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の拠点施設となること ・何度行っても学べる美術館 ・大分の作家を学習できるコンセプトも取り入れてほしい。 ・子どもたちに真の芸術を楽しみ伝えられる芸術発信の基地 	5人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・県民の参加できる美術館 ・県民参加型の美術館 ・県民全員参加型の美術館 ・県民参加の豊かな人間関係を築く美術館であってほしい 	5人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・時代の子どもたちに感動を与えられる場。 ・子どもが育つ精神文化の源。 ・老人と子どもの意見が聞こえる美術館 ・子どもたちに美の良さを伝えられるもの ・子どもに安心 	5人	2%
<ul style="list-style-type: none"> コンサートやスポーツ、ウォーキングなどと一体となれる美術館 	5人	2%

ご意見の概要	回答件数	割合
<ul style="list-style-type: none"> ・100年続く美術館 ・100年、1000年先を展望して、子孫に美術の宝館・希望館として残してもらいたい ・100年の大計で県の誇れる建造物を建てること。 ・100年通用する建物 	4人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティビティを刺激する環境の提供が主題であってほしい。時を経ても価値の落ちない施設であって欲しい。 ・その空気、刺激を受けたり、浄化されたり、とにかく、気分がよくなる美術館。 ・あっと驚く、常に興味を抱かせるものが重要 ・触発、感発、創発 	4人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・他の美術館にはない個性的な常設展や参加型のイベントなどいろいろな試みを行う新しい美術館というコンセプトがよい。 ・新しいアートとふれあえる美術館 ・地域に密着しつつ、より大きな幅広い価値観が得られると良いと思います。掘り下げるだけでなく、新たなものをとりいれつつ全国に発信していくことが、大分には必要ではないかと思っています。 	4人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に根ざし、地に足がついた美術館 ・「暮らし」と「芸術」 	4人	2%
地元で世界の名品に触れられる美術館。	4人	2%
<ul style="list-style-type: none"> ・温かみや柔らかさを感じさせてもらいたい。 ・地方都市らしさを強調した施設(ぴかぴかの中にも素朴で心温まる施設) ・ソフトで温かい雰囲気空間 	3人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・エコ対策 ・環境と融合した美術館 	3人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりじっくりを生かせる美術館を ・その場所だけが時間がゆっくり流れるようなイメージ ・ゆったりと作品を見られるような美術館 	3人	1%
公共交通で行ける美術館。	3人	1%
文化芸術の創造及び鑑賞発表の場とすること	3人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の延長にあり誰もが利用しやすい場所」は望ましいのですが、この点に重点を置くと、多くの面が叶わないと思います。むしろ「異空間」であることを大切にしてほしいと思っています。 ・日常生活の一部になるような身近なものであり、また非日常的な空間であること 	2人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人に「開かれた美術館」であってほしい。 ・開かれた美術館(柔軟で開放的な) 	2人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・大分のシンボルといえるような美術館 ・ここに来れば大分県芸術の全てが分かるというような場を作ってほしい。 	2人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽と結びつく可能性はある。 ・展示会場で演奏会をするなど、美術も音楽も両方味わえる空間。 	2人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・県出身の芸術家とその作品を紹介、展示し、大分県に住んでいること、大分県民であることに自信を持ち、誇りに思う、そんな美術館であって欲しい。 ・大分県の風土、歴史、文化の古きものと新しきものとの調和を図りもっと誇れる夢と希望のある美術館の建設 	2人	1%
<ul style="list-style-type: none"> ・県民にレベルの高い芸術を提供する美術館 ・文化芸術の県民の拠点として 	2人	1%

ご意見の概要	回答件数	割合
・公立の美術館は保守的になりがちである。現代の最新の多彩なアートシーンや今後注目のアートやアーティスト、大分のアーティストを紹介する「攻め」の美術館を目指して欲しい ・大分ごみゼロ運動などで拾ったゴミを利用したアートなど、環境も考えた最先端アート美術館	2人	1%
・どこの県にもない魅力的な美術館にして欲しい ・双方で成長を感じる魅力あるものであって欲しい	2人	1%
・美術展を見るだけでなく、そこに行きたくするような素敵な空間になって欲しい ・美術館を中心にその地域一帯が県民にとってとても素敵な場所や空間となるような今日の時代のハイカラな垢抜けたものとしてほしい。	2人	1%
・見たことのない美術館 ・今までの美術館の枠にとられないこと	2人	1%
・緑に囲まれた美術館。 ・山の中の体験・滞在型美術館。	2人	1%
美術館らしい美術館	2人	1%
民間美術館とも相乗効果が期待できる美術館。	2人	1%
「いつも行きたい」場所を是非作って欲しい。	1人	0%
「芸術＝人間の心＝成長」を考えてほしい。	1人	0%
「自分たちの応接間」に違和感を感じる。美術館は安らぎを与えるだけでなく、作家が表現した感情を感じるものではないだろうか	1人	0%
「充実感のある」美術館	1人	0%
「進化する」美術館。芸術・美術は文化としての進化の歴史であり、情報化社会による表現の多様性は今後ますます増え、多彩になる。そのような多様な表現の作品展示及び研究を目指す。	1人	0%
「成長する」「四季を感じる」「五感を刺激する」のコンセプトは理解できるが、言葉遊びに感じる。	1人	0%
「成長する美術館」というコンセプトに強く共感する。	1人	0%
「旅行」と「芸術」	1人	0%
3つのキーワードを織り込めば、どこにも負けない立派な施設になると思う。	1人	0%
アクセスの良い市街地の美術館を希望するが、上記のコンセプトのイメージは、広大な敷地で自然に恵まれた郊外型の感じがする。	1人	0%
新しい美術館のコンセプトとして、「歴史を感じる」美術館、を加えれば「大分らしい」美術館のイメージが生まれるものと思われる。大正10年、朝倉文夫が時の文部省に提出した九州美術学校建設に関する具申書に、大分県の誇れる美術事例として磨崖仏、大友宋麟の南蛮文化、田能村竹田の豊後南画が列挙されているように、大分県の特徴を示す展示コーナーを設置すべきである。また常設展示を、例えば江戸館、明治館、大正館、昭和戦前館、昭和戦後館、平成館などに分類し、大分の歴史を感じながら鑑賞できるようにすれば、「大分スタイル」を演出できるのでは、と思われる。	1人	0%
オールマイティな美術館	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
書かれているコンセプトは不要。感性感覚が全面に出るようなコンセプト(わくわく感、おもてなしなど)がよい。県民も参加して作ったような感覚的思いのこもったわかりやすい短い文字のコンセプトがよい。	1人	0%
今日は半日暇だから美術館でものぞいて食事をしていこうというような場所	1人	0%
空気が流れ、人が動いている美術館。	1人	0%
県内外のアート情報発信の拠点としての美術館。	1人	0%
県民があこがれの的である文化施設	1人	0%
県民がいつも集える心理的に身近な美術館。	1人	0%
県民が利用しやすい美術館	1人	0%
県民だけでなく、県外の方も「見たい」と思えるような魅力的な美術館。	1人	0%
県民だけでなく観光客も利用できる美術館。	1人	0%
県民と共に行く美術館	1人	0%
県民のあこがれる施設	1人	0%
県民や留学生が容易に参加できるような美術館	1人	0%
交流の場、情報受発信	1人	0%
高齢者の憩いの場	1人	0%
国際的な情報発信基地	1人	0%
コンセプトが漠然としており、新鮮に欠ける。	1人	0%
コンセプト倒れになりかねないようシンプルにより作品と出会える空間ができることを希望する。	1人	0%
コンセプトに感心した。このまま新しい美術館をつくって欲しい。	1人	0%
コンセプトに示された自然を内側からも感じられる明るい物を期待する。	1人	0%
様々な視点から刺激を受けることができるようなコンセプトを考えてほしい。	1人	0%
自然に囲まれて…については、市街地から遠くに作る口実とならぬように注意したい。「アクセスの良さ」は最も重要な条件です。「応接間」ではなく、県民の居間となるべきです。	1人	0%
ジャンル等に縛られない広い意味でのアートが見られる、触れられる美術館	1人	0%
ぜひこのコンセプトで新しい県立美術館が出来ればよい	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
全国に誇れる豊かな自然を生かし、常に訪れる人に五感を刺激する美術館を望む	1人	0%
対話の生まれる美術館。	1人	0%
竹をイメージした美術館	1人	0%
誰でもいつでも行くことのできる、一年を通じて楽しい美術館にしてほしい。	1人	0%
誰もが感動する美術館	1人	0%
誰もが気軽に利用出来る美術館(憩いの場、ふれあいの場)	1人	0%
地域とともに生き、活用されるように開かれた美術館にしてほしい。	1人	0%
地域に根付く憩える美術館	1人	0%
地域密着型。	1人	0%
展示のみではなく、体験等を通して学べる美術館。	1人	0%
都会的な近未来の建物でなく、自然を生かし、四季を感じる美術館にしてみたい	1人	0%
農業なども美術館でやって欲しい(一種のテーマパーク)	1人	0%
光、海、高原をコンセプトに癒しと安らぎ、心の贅沢を感じる美術館。	1人	0%
美の追究、美的センスを磨く場所	1人	0%
普通の暮らしに溶け込む美術館。	1人	0%
普通の美術館。コンセプトは大切だが、基本がしっかりすれば良いのであって、コンサルタントや設計者が喜ぶようなコンセプトを作っても、すぐに陳腐化するし、高くつく。	1人	0%
別府市は東洋のナポリと呼ばれている。熊八先生をまねて言えば「山は由布鶴見連山、海は豊後水道別府湾、湯は別府」。素晴らしい景観に富んでいる。そうした点から言えば、「五感を刺激する」美術館が素敵。	1人	0%
別府に来てこんな事が分かりよかったと思える美術館。	1人	0%
有事に避難場所になるカプセル型美術館	1人	0%
湯量世界一の「温泉」を芸術にして広めよう。大分の一村一品を芸術に高める。	1人	0%
来館者に優しい美術館。開設してくれる人の配置や初心者向けリーフレットなど。	1人	0%
忘れられないところ	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
県内の他の博物館や美術館にも足を向けたいような雰囲気(県立美術館だけが栄えればよいという発想ではなく、大分県全体の文化的なレベルを向上させる仕掛けが大切)。	1人	0%